

ニュース し de と 知っ解く ちゅうがく せい 中学生

先生から

東海大星翔高の百崎蒼生選手が、プロ野球のドラフト会議で阪神から4位で指名されました。

阪神から4位指名を受け、チームメイトから胴上げされる東海大星翔高の百崎蒼生内野手。26日、熊本市東区の同校



東海大星翔高の百崎蒼生は阪神が4位指名。強打の内野手として高評価を受け、「正直呼ばれないかと思った。ほっとした気持ちが一番大きい」と安堵した様子だった。身長178センチ、体重78キロ。本塁打は高校通算39本。50メートル走は5秒9と俊足も武器。守備範囲も広く要の遊撃手を任せられた。強豪の東海大相模高（神奈川県）から転入した高校2年の5月から、高野連の規定で公式戦に1年間出られなかった。だが、「応援してくれる人がいる」と腐らず練習に取り組む、打撃力はさらに向上した。出場可能になった高校3年夏、最後の県大会直前、練習試合で自

Q1 百崎選手は公式戦に1年間出られなかったとき、どんな思いで練習に取り組んでいましたか。

Q2 最後の県大会直前の練習試合で、百崎選手にどんなことがおきましたか。

Q3 甲子園では1回戦敗退でした。阪神に指名されたことで、どんなふうに百崎選手は意気込んでいますか。

Q4 写真で、胴上げされている百崎選手はどんなことを考えているでしょうか。想像してセリフにしてみましょう。

百崎（東海大星翔高）阪神4位

「もう一度甲子園でプレーを」

打球が左足首付近に当たり、骨にヒビが入った。それでも強行出場し、準決勝で逆転3点本塁打を放つなどチームを引っ張り、甲子園に導いた。

ただ、甲子園は1回戦敗退を喫し、悔しさを残した場所。「もう一度、思い出の甲子園でプレーできるチャンスをもらえた」と意気込む。

「甘い世界じゃないのは分かっているが、1軍で活躍するという目標は常に頭に持っておきたい」。熊本の高校野球界で抜群の存在感を示したホープがプロの世界へ飛び込む。

（金村貫太）

記事、写真を再構成しました

2023年10月27日付